※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	国語演習Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　新編「言語文化」　（第一学習社）						
副教材等	なし。						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生で使用した「言語文化」の教科書を引き続き使用します。しっかり予習しておくこと。一年次で習得したものを踏まえて展開します。
・授業では、課題に対して自ら考えるとともに、周りの人と協力して考える活動を行います。
・様々な文章を読み解く「読む能力」を向上させるとともに、自分の意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・家庭学習における課題は、定期的に必ず提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。授業中のノートやプリント教材については、板書を書写するだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気づいたこと、級友の発言した内容などについて、ノートやプリントなどの枠外や余白部分に記入していきましょう。

２　学習の到達目標

１年生で習得したものを踏まえて、言葉による見方・考え方などを働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し、効果的に表現することができる資質と素養と能力について、さらなる高い資質を獲得するために、次のように育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解と認識を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、自分の思惟や考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めると同時に、生涯にわたって読書に親しんで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使用している。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思惟や考えを広げたり、深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者と関わったり、思惟や考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	小説を読む(一) ［教材］よろこびの歌	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b［　読　］：文章の内容や構成、展開などについて、叙述を基に的確に捉えるとともに、他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 c：進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして問いに対する自分の答えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえつつよりよいものにしようとしている。	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 振り返りワークシート
	古文に親しむ ［教材］児のそら寝『宇治拾遺物語』 ・日本文学史(上代、中古編)	a：古典の世界に親しむために、必要な文語の決まりや古典特有の表現について、理解することができる。 b［　書　］：自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：積極的に古典の理解を深めようとするとともに、自分の思いが伝わるようにあらゆる努力をしてより良いものにしようとしている。	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 振り返りワークシート
二学期	小説を読む(三) ［教材］よだかの星	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b［　読　］：文章の内容や構成、展開などについて、叙述を基に的確に捉えるとともに、他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 c：進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして問いに対する自分の答えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえつつよりよいものにしようとしている。	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 振り返りワークシート
	漢詩の鑑賞 ［教材］唐詩の世界	a：古典の世界に親しむために、必要な文語の決まりや古典特有の表現について、理解することができる。 b［　読　］：文章の内容や構成、展開などについて、叙述を基に的確に捉えるとともに、他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 c：積極的に古典の理解を深めようとするとともに、自分の思いが伝わるようにあらゆる努力をしてより良いものにしようとしている。	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 振り返りワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	詩の楽しみ ［教材］道程・小景異情・六月	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b［　話／聞　］：自分の考えや思索が効果的に伝わるように文章を整え、相手により的確に伝えることができる。同時に、相手の意図やしいを十分に聞き、理解することができる。 c：進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして問いに対する自分の答えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえつつよりよいものにしようとしている。	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 振り返りワークシート
	随筆を読む ［教材］仁和寺にある法師『徒然草』 安元の大火『方丈記』	a：古典の世界に親しむために、必要な訓読及び文語の決まりや古典特有の表現について、理解することができる。 b［　読　］：文章の内容や構成、展開などについて、叙述を基に的確に捉えるとともに、他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 c：積極的に古典の理解を深めようとするとともに、自分の思いが伝わるようにあらゆる努力をしてより良いものにしようとしている。観的に述べ、他者の意見を踏まえつつよりよいものにしようとしている。	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 定期考査	ワークシート プリント 振り返りワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　１０　　）時間

・書くこと　…　（　　１０　　）時間

・読むこと　…　（　５０　（古典３０時間・近代以降の文章２０時間）　）時間